

令和5年度 日野市立日野第六小学校経営重点計画				自己評価シート		令和5年6月公表
★学校の教育目標 ◎学び考えを深める子 ○思いやりの心をもち行動できる子 ○がんばりぬく子 ○身体をきたえる子				★重点計画の概要 「日野市学びと育ちの基本構想」の理念を踏まえ、子供たち自らが「すべての“いのち”がよろこびあふれる未来をつくっていく力」を育んでいけることを目指し、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する生きる力を育む教育を推進する。		
★目指す学校像（ビジョン）						
【めざす児童・生徒像】 自他を認め、思いやりの心を持って他者と接し、心身ともに健康で、進んで学ぶ意欲とたくましく生きる力を育む児童						
【めざす学校像】 過去から未来につながり、すべての命がともに生きる街で子供の笑顔があふれ、また来たいと思える楽しい学校						
【めざす教師像】 児童の笑顔と未来のために、教育の専門職としての自覚をもち、自ら学び続け、子供とともに成長する教師						
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策			
				取組指標		成果指標
学 び	基礎基本の定着による確かな学力の育成	基礎力となる知識・技能の確実な習得を図る。	◆「学びの礎」・「六小学習ルール」に基づき全教員が統一して学習規律徹底を図る。 ◆各教科の見方・考え方に基づいて、学習の基礎・基本の定着を図るとともに、言語活動を意識した教育活動を行う。 ◆指導と評価の一体化を図り、協働的・対話的な学習活動を行う。 ◆校内特別支援教育の一層の充実と、教員の特別支援教育へのスキル・理解向上を図る	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 95%以上の教員が計画通りに実施している。	3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 90%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。	
	主体的・対話的で深い学びの具現化に向けた自分に合った多様な学びの創造	探究的な学びを取り入れた授業を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成し、それらを活用・発展させる実践力を高める。	◆「探究に値し」「学びの必然性」が児童から生まれてくるような探究課題を設定する。 ◆「総合的な学習の時間」、「生活科」の年間計画の見直しと充実を図る。 ◆学校図書館、学校図書館司書を活用した学習活動を実施する。 ◆学習活動におけるICTの活用方法の見直し及び効果的な活用を進める。	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。	
い の ち	思いやりの心をもち、自他のいのちを大切に する豊かな人間性の育成	「互いを認め合い、他者を思いやる心情を育てるとともに、社会性を高める。	◆子供が自分の力を発揮でき、互いに自己存在感を認め合える取組を実施する。 ◆全教育活動を通じて道德教育を充実させるとともに「特別の教科道德」において、考え、議論する道德教育の実践を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ◆学校行事や委員会、係活動、たてわり班活動、集会活動等を通して、あいさつの励行と笑顔あふれる学校の具現化を図る。 ◆持続可能な社会をつくるための、環境や生命尊重への関心、協力、感性、実行力を高める取組を実施する。	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 95%以上の教員が計画通りに実施している。	3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 90%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで85%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。	
	すべての“いのち”を守り、育むための取組の充実	子供の安全・安心を守る組織的なサポート体制を構築し、生活指導の充実を図る。	◆総合的な学習の時間での探究活動や防災教育、栽培活動等、教育活動全体を通して、自他のいのちを尊重する取組を実施する。 ◆学校いじめ防止基本方針に則り、いじめ対策委員会を中心に、いじめ防止の取組を徹底する。 ◆校内委員会や特別支援コーディネーター・スクールカウンセラー、保護者等と連携し組織を活用して、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決を図る。	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 95%以上の教員が計画通りに実施している。	3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 90%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで85%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。	
地 域	学校、家庭、地域・社会が一体となった「過去と未来がつながり共に生きる街」の推進	PTA・地域支援本部・社会教育センター・地域人材などを活用し、豊かな体験活動や学校環境整備を行う。	◆学校運営協議会、保護者会、道德授業地区公開講座、学校行事の意見交換や情報交換、アンケートを教育活動に活かす。 ◆SDGsの理念を活用し、持続可能な社会をつくる一人としての自覚と行動力を育む取組を実施する。 ◆地域の教育資源の開発、地域を学びのフィールドにした学習活動の充実を図る。 ◆教職員がPTA活動や地域行事、育成会等に積極的に参加する。	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 保護者アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 90%以上の教員が計画通りに実施している。	3 保護者アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 80%以上の教員が計画通りに実施している。	2 保護者アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が80%未満である。	1 保護者アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。	
	家庭教育力の向上による生活習慣の確立	基本的生活習慣の徹底と児童一人一人の特性や環境の理解を深め、保護者と連携して指導の充実を図る。	◆「学びの礎」「六小学習ルール」を活用し、「挨拶の励行」「きまりの遵守」の指導を徹底する。 ◆c4thHome&Schoolを活用し、学校便りや学年便り、保健便りを発信し、ホームページや学校公開を通して具体的な子供の活動、生の声、変容、実践を発信する。 ◆家庭訪問・個人面談等において保護者と連携し、児童個別の課題を把握し、一人一人を大切にした教育活動を推進する。 ◆教育活動への保護者の協力を積極的に活用する。	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 保護者アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 95%以上の教員が計画通りに実施している。	3 保護者アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 90%以上の教員が計画通りに実施している。	2 保護者アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 保護者アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。	
身 体	心身ともに健康でたくましく生きる力を育む	体力向上および食育推進の取組を通して、児童がたくましく生きるための知恵や体力を育て、生涯スポーツの基盤をつくる。	◆子供の持久力を高める取組を実施する。 ◆体力テストや六小ラン、なわとび週間等の取組を通して、身体を動かす楽しさ心地よさを味わわせ、子供の基礎体力を高める取り組みを行う。 ◆栄養士と連携した食育を推進し、心身の調和のとれた発達を促す体づくりを推進する。	4 全ての教員が計画通りに実施している。	4 児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				3 95%以上の教員が計画通りに実施している。	3 児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				2 90%以上の教員が計画通りに実施している。	2 児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。	
				1 計画通りに実施した教員が90%未満である。	1 児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。	

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。

令和5年度 日野市立日野第六小学校経営重点計画				自己評価シート				令和6年3月公表					
★学校教育目標				◎学び考えを深める子 ○思いやりの心をもち行動できる子 ○がんばりぬく子 ○身体をきたえる子				★重点計画の概要					
★目指す学校像（ビジョン）								「日野市学びと育ちの基本構想」の理念を踏まえ、子供たち自らが「すべての“いのち”がよこびあふれる未来をつくっていく力」を育んでいけることを目指し、人間尊重の精神を基調に、心身ともに健康で、自ら学ぶ意欲と社会の変化に主体的に対応する生きる力を育む教育を推進する。					
【めざす児童・生徒像】				自他を認め、思いやりの心を持って他者と接し、心身ともに健康で、進んで学ぶ意欲とたくましく生きる力を育む児童									
【めざす学校像】				過去から未来につながり、すべての命がともに生きる街で子供の笑顔があふれ、また来たいと思える楽しい学校									
【めざす教師像】				児童の笑顔と未来のために、教育の専門職としての自覚をもち、自ら学び続け、子供とともに成長する教師									
領域	中期経営目標	短期経営目標	具体的方策	評価指標・評価基準				学校評議員・学校運営協議会の意見	結果の分析と改善策				
				評価点	取組指標		評価点			成果指標			
学び	基礎基本の定着による確かな学力の育成	基礎力となる知識・技能の確実な習得を図る。	◆「学びの礎」・「六小学習ルール」に基づき全教員が統一して学習規律徹底を図る。 ◆各教科の見方・考え方に基づいて、学習の基礎・基本の定着を図るとともに、言語活動を意識した教育活動を行う。 ◆指導と評価の一体化を図り、協働的・対話的な学習活動を行う。 ◆校内特別支援教育の一層の充実と、教員の特別支援教育へのスキル・理解向上を図る	4	4	全ての教員が計画通りに実施している。		3	4	児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・学力・学習状況調査の結果や授業創造プランの内容から、子供たちの確かな学力の育成に向け、全教職員が真摯に向き合っていることが伝わる。 ・言語活動を意識した教育活動や協働的・対話的な学習指導が行われている結果として、子供たちが主体的にグループ学習をすることができている。 ・学習規律の徹底を重視しているが、アンケートの結果から課題があるように思える。理由等の分析が必要と思われる。	「学校の勉強を理解しています。」の質問に93.3%、「六小学習ルールは守っていますか。」の質問に93.1%、「学び合い・話し合いを進んでいます。」の質問に86.2%の児童が肯定的な評価をしている。学習の基礎基本を大切にしつつ、協働的・対話的な学習活動を今後も進めていく。
					3	95%以上の教員が計画通りに実施している。			3	児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
			2		90%以上の教員が計画通りに実施している。		2		児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が90%未満である。		1		児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。				
	主体的・対話的で深い学びの具現化に向けた自分に合った多様な学びの創造	探究的な学びを取り入れた授業を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成し、それらを活用・発展させる実践力を高める。	◆「探究に値し」「学びの必然性」が児童から生まれてくるような探究課題を設定する。 ◆「総合的な学習の時間」、「生活科」の年間計画の見直しと充実を図る。 ◆学校図書館、学校図書館司書を活用した学習活動を実施する。 ◆学習活動におけるICTの活用方法の見直し及び効果的な活用を進める。	3	4	全ての教員が計画通りに実施している。		3	4	児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・「生活科」や「総合的な学習の時間」「各教科における問題解決学習」を展開して児童の思考力・判断力・表現力が育成されていることが授業参観等の様子から判断できる。 ・授業の中で先生たちは、子供たちが考えて答えを導き出せるように関わっていると感じた。 ・主体的・対話的で深い学びを得られる教科やその指導内容や方法、探究に値する課題の工夫を期待しています。	「調べたり、まとめたりする学習でよく考えたり、習ったことを生かしたりしています。」の質問に90.4%、「学習者用端末を使って学習しています。」の質問に92%の児童が肯定的な評価をしている。児童の、主体的・対話的で深い学びに向け、今後も探究に値する課題を設定し、計画を見直しながら学習活動をアップデートしていく。
			3		90%以上の教員が計画通りに実施している。		3		児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			2		80%以上の教員が計画通りに実施している。		2		児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が90%未満である。		1		児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。				
いのち	思いやりの心をもち、自他のいのちを大切に する豊かな人間性の育 成	「互いを認め合い、他者を思 いやる心情を育てるとも に、社会性を高める。	◆子供が自分の力を発揮でき、互いに自己存在感を認め合える取組を実施する。 ◆全教育活動を通じて道徳教育を充実させるとともに「特別の教科道徳」において、考え、議論する道徳教育の実践を通して道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。 ◆学校行事や委員会、係活動、たてわり班活動、集会活動等を通して、あいさつの励行と笑顔あふれる学校の具現化を図る。 ◆持続可能な社会をつくるための、環境や生命尊重への関心、協力、感性、実行力を高める取組を実施する。	3	4	全ての教員が計画通りに実施している。		3	4	児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・学校は、道徳授業地区公開講座で「いのち」をテーマにしたり、親子読書週間を設けたりして、思いやりの心の育成に中核となり、保護者・地域へも啓発している努力が伝わる。 ・「特別の教科道徳」において熟議の実践を重視し、道徳の実践力を高めようと努力している。 ・子供は、互いを認め合うことの大切さを頭では理解されていても、それが生活の中で生かされていないように感じた。	「友達を思いやり、なかよく遊ぶことができています。」の質問に96.4%、「おはよう、ありがとうなどのあいさつを自分からしています。」の質問に92%、「気持ちのよい言葉づかいをしています。」の質問に89.6%の児童が肯定的な評価をしている。コミュニケーションの基礎となる挨拶、言葉遣いについては、今後も継続して指導をしていく。
					3	95%以上の教員が計画通りに実施している。			3	児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
			2		90%以上の教員が計画通りに実施している。		2		児童アンケートで85%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が90%未満である。		1		児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。				
	すべての“いのち”を守り、育むための取組の充実	子供の安全・安心を守る組織的なサポート体制を構築し、生活指導の充実を図る。	◆総合的な学習の時間での探究活動や防災教育、栽培活動等、教育活動全体を通して、自他のいのちを尊重する取組を実施する。 ◆学校いじめ防止基本方針に則り、いじめ対策委員会を中心に、いじめ防止の取組を徹底する。 ◆校内委員会や特別支援コーディネーター・スクールカウンセラー、保護者等と連携し組織を活用して、いじめ・不登校の未然防止・早期発見・早期解決を図る。	3	4	全ての教員が計画通りに実施している。		4	4	児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・校内委員会や特別支援コーディネーター及びスクールカウンセラーと連携して、いじめ、不登校等の未然防止、早期発見、解決をタイムリーに実施し、組織的に解決しようと努力していることが分かる。 ・幼稚園で特性があったり支援が必要だったりした子も学校に安定して通えていることから、一人一人が認められる場所になっていると感じる。 ・学校と保護者の関係が密に行われていると感じている。	「自分の命は自分で守ることに、気を付けています。」の質問に96.9%、「安全に気を付けて、登下校しています。」の質問に96.3%の児童が肯定的な評価をしている。災害やいじめ問題等について、自分事として捉えられるような工夫をしながら、意図的・計画的に指導をしていく。
			3		95%以上の教員が計画通りに実施している。		3		児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			2		90%以上の教員が計画通りに実施している。		2		児童アンケートで85%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が90%未満である。		1		児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が85%未満である。				
地域	学校、家庭、地域・社会が一体となった「過去と未来がつながり共に生きる街」の推進	P T A ・地域支援本部 ・社会教育センター ・地域人材などを活用し、豊かな体験活動や学校環境整備を行う。	◆学校運営協議会、保護者会、道徳授業地区公開講座、学校行事の意見交換や情報交換、アンケートを教育活動に活かす。 ◆SDG s の理念を活用し、持続可能な社会をつくる一人としての自覚と行動力を育む取組を実施する。 ◆地域の教育資源の開発、地域を学びのフィールドにした学習活動の充実を図る。 ◆教職員がPTA活動や地域行事、育成会等に積極的に参加する。	2	4	全ての教員が計画通りに実施している。		2	4	保護者アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・学校は外部との交流など地域や他の機関と関わる様々な活動が実施されている。これらは、これからの社会を担う子供たちにとってよい体験となる。 ・SDG s を意識し、学校として系統的に取り組み、子供たちに自覚を促していることが、学習から見えてくる。 ・幼稚園も地域の一つとして活用してもらう機会が、さらに増えることを望む。	「学校は、家庭・地域と連携し、指導の充実を図っている。」の質問に87%、「学校は、PTAや地域人材を活用し、体験活動や学校環境整備を行っている。」の質問に76%の保護者が肯定的な評価をしている。これまで以上に地域や保護者との連携し、体験活動に注力するとともに、活動したことを周知できるようにしていく。
					3	90%以上の教員が計画通りに実施している。			3	保護者アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
			2		80%以上の教員が計画通りに実施している。		2		保護者アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が80%未満である。		1		保護者アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。				
	家庭教育力の向上による生活習慣の確立	基本的生活習慣の徹底と児童一人一人の特性や環境の理解を深め、保護者と連携して指導の充実を図る。	◆「学びの礎」「六小学習ルール」を活用し、「挨拶の励行」「きまりの遵守」の指導を徹底する。 ◆c4thHome&Schoolを活用し、学校便りや学年便り、保健便りを発信し、ホームページや学校公開を通して具体的な子供の活動、生の声、変容、実践を発信する。 ◆家庭訪問・個人面談等において保護者と連携し、児童個別の課題を把握し、一人一人を大切にした教育活動を推進する。 ◆教育活動への保護者の協力を積極的に活用する。	3	4	全ての教員が計画通りに実施している。		3	4	保護者アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・家庭の教育力の向上については、学校としての優先順位は高いものではない。日常的に学校の説明責任や情報発信を心掛けることが大切である。 ・児童の個別課題について、保護者と連絡・連携しつつ、家庭と共に児童一人一人を大切に育成しようと努力する教師の姿が見える。 ・多摩平地域は核家族の家庭も多く、地域とのつながりが薄い家族も多い。保護者間のつながりを広めることで家庭教育力の向上につながるのではないかと。	「お子さんは、学校の決まりを守って学校生活を送っている。」の質問に92%、「通知表などの評価物は、学習や生活の様子が分かりやすく表されている。」の質問に92%の保護者が肯定的な評価をしている。様々な機会を通じて、保護者との連携を深め、児童一人一人を大切にしていく。
			3		95%以上の教員が計画通りに実施している。		3		保護者アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			2		90%以上の教員が計画通りに実施している。		2		保護者アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が90%未満である。		1		保護者アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。				
身体	心身ともに健康でたくましく生きる力を育む	体力向上および食育推進の取組を通して、児童がたくましく生きるための知恵や体力を育て、生涯スポーツの基盤をつくる。	◆子供の持久力を高める取組を実施する。 ◆体力テストや六小ラン、なわとび週間等の取組を通して、身体を動かす楽しさ心地よさを味わわせ、子供の基礎体力を高める取り組みを行う。 ◆栄養士と連携した食育を推進し、心身の調和のとれた発達を促す体づくりを推進する。	3	4	全ての教員が計画通りに実施している。		2	4	児童アンケートで95%以上の児童が肯定的な評価をしている。		・給食試食会やおたよりを通じて、保護者もまきこんだ食育ができている。定期的になわとび週間や六小ランを行い、持久力の向上に取り組みていると感じる。 ・運動会で体を動かすことを楽しむ児童の姿が見られた。リズム表現なども工夫されていると感じる。 ・栄養士が必ず給食時に各学級を巡回、点検し、給食指導において課題がないか、担任と連携しながら活動している。	「学校の給食は、好き嫌いせずに食べています。」の質問に、79.5%、「体育の時間や休み時間は、元気に遊んだり運動しています。」の質問では87.3%の児童が肯定的な評価をしている。どちらも昨年度よりも肯定的な評価が下がっている。各種取組の工夫をし、児童の体力向上を目指していく。
					3	95%以上の教員が計画通りに実施している。			3	児童アンケートで90%以上の児童が肯定的な評価をしている。			
			2		90%以上の教員が計画通りに実施している。		2		児童アンケートで80%以上の児童が肯定的な評価をしている。				
			1		計画通りに実施した教員が90%未満である。		1		児童アンケートで肯定的な評価をしている児童が80%未満である。				

※評価指標・評価基準は、2の段階を現状としています。